

滝田医院ニュース 第31号

〒022-0001 大船渡市末崎町字平林75-1 滝田医院 電話0192-29-3108 内科(循環器、呼吸器、消化器)
院長 滝田有(たきた たもつ):医学博士・日本内科学会認定総合内科専門医・日本循環器学会認定循環器専門医

ハイライト:

- 4月13, 14日(金・土曜)16日(月曜)は臨時休診となります。ご了承ください。ホームページやケータイサイトでもご覧ください。http://takita.webmedipr.jp/
- 肺炎球菌ワクチンの公費負担は3月いっぱい終了しました。
- 慢性の病気で定期的に受診される方は、予約制にご協力ください。
- 当院で臨時休診が増えるワケ>2ページへ!

逆流性食道炎と仮設住宅

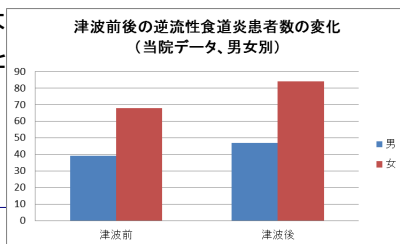
仮設住宅に生活していると、逆流性食道炎(逆食)が増えます。当院のデータは、右下のグラフの様になります。左の2本が津波前(平成23年1~2月)の男(青)女(赤)、右の2本が津波後(平成24年1~2月)の男女の罹患者数(当院を受診して逆食と診断した延べ人数)です。

逆食とはなんでしょう?胃酸が上の方に逆流し食道の粘膜が荒れてしまう状態を指します。症状としては胃もたれ、胸やけ、ゲップ、胸痛などです。食道と胃の繋ぎ目の筋肉が緩くなっている事が原因となる場合が多いです。主に加齢のために筋肉が緩くなるのですが、なぜ仮設で生活すると逆食が多くなるのでしょうか?皆が急に老け込んだわけではありません。食習慣は被災前と変わらない早食いのままですが、食後にする仕事もなくなり、昼寝や早寝をしま



在りし日の細浦駅と桜

んか?食休みは悪いことではありませんが、横になると食道と胃が横並びとなってしまう胃酸は逆流しやすくなります。食事はゆっくりよく噛んで食べ、出る胃酸を少なくする。食後はすぐ寝ないで、出た胃酸の食道への逆流を防ぐ。こういった工夫が仮設の食生活では必要です。薬物としては胃酸の出るのを抑えるものが中心となりますが、食習慣の見直しも大事なことです。



開業して満9年。皆様に感謝しつつ10年目に突入。

平成15年4月1日に新規開業し、このたび満9年となりました。決して順風満帆の9年間ではありませんでした。平成20年1月にはクモ膜下出血で倒れました。同年10月には奇跡的に復帰出来ましたが、23年3月に大津波に遭遇。自慢の医院建物は全壊しました。そして今の仮設診療所に至ります。これも末崎町民はじめ気仙の皆様のご支援の賜

物と思っています。また現在の仮設診療所の建物と医療器械の一部は岩手県の助成によって建築・購入できたものです。広く岩手県民の皆様にも感謝いたします。今後も医療資源の乏しいこの気仙で頑張っていきたいと思っております。ますますのご声援をお願いします。

ちなみに昨今の今頃はふるさとセンターでの診療を始めたところです。自治医大チームに支援してもらいました。

目次:

仮設住宅と逆流性食道炎の関係 1

クイズ:逆食が女性に多いのはなぜでしょう?

開業満9年 1

HbA1cって? 2

第77回日本循環器学会報告 2

また増えるかも、臨時休診! 2

●http://takita.webmedipr.jp/

●保険診療は必ず診察が必要です。これは法律で決まっています。毎回薬だけでは困ります。

失われた5年！HbA1c(ヘモグロビンエーワンシー)

糖尿病の患者さんはよくご存じの数値に、HbA1c(ヘモグロビンエーワンシー)というものがあります。1～2か月の血糖の平均値と考えてもらえばよいです。糖尿病の治療効果を見たり、糖尿病の診断にも使えます。最近はかなり普及してきて診察室でも気にする患者さんが増えてきました。例えばHbA1cが6.1%以上であれば糖尿病である可能性が強くなります。

ところでこの数値が全国患者さんで上昇してしまう、という事件が起こることになりました。といっても、全国民で糖尿病が悪化する訳ではありません。実は日本糖尿病学会の方針で、表記方法を変え、従来

の数値に0.4%上乗せすることが決まったのです。従って従来A1cが6.8%だった人は7.2%に上がりますが、悪くなったわけではありません。毎月当院で測っている患者さんも多いのですが過去の数値と4月以降の数値を比較するときは注意が必要です。なぜこんなややこしいことになったかという、以前から国内の数値と国際的な数値が違っているのが知られていました。5年前に学会で日本の数値(JDS値)を国際基準(NGSP値)に統一することが決まったのですが、期日を決めて一斉に変えましようとしたのです。それがこの4月1日なわけです。どうせやるなら、A1cが患者さんに広まる前にさっさとしてほしかった、というのは私の愚痴？



雪の細浦の夜(医院の裏)
この景色も、もう見えません。

第76回 日本循環器学会学術集会(博多) 報告

このたび3月16日から3日間の日程で博多国際会議場を主会場に第76回日本循環器学会学術集会が開かれました。院長も勉強のため(専門医資格維持のため)休診を頂いて出席してきました。興味のある話題としてTAVIという手技があります。これは主に動脈硬化性の大動脈弁狭窄症(心臓の出口の大動脈弁ががちがちに硬くなって心臓に負担がかかる病気)の治療法です。従来は心臓を開けて人工弁を入れるやり方だったのですが、これは心臓を開けることなく、カテーテル(細長い管)を通して人工弁を入れるやり

方です。従来の方法に比べて患者さんの負担は少ないのですが保険適応となるのはまだ先のようなです。重症心不全に対しては人工心臓も大分進歩していますし、細胞再生シートを心筋に直接貼るような治療法も出てきました。

大学時代あるいは開業してからの知人たちとも古い旧交を温めることが出来ました。

今後も毎年参加してリフレッシュ！それを日常診療に還元していきたいと思えます。

例年3～4月は臨時休診が多くなりますがご了承ください。決して遊びに行くわけではありません。

糖尿病の食事

血糖を上げるものは減らして食べる。
それは炭水化物です。米・パン・麺類など主食といわれるものを減らせば良いのです。
便秘と大腸がんにご注意！
詳しくは診察室で聴いてください。

お知らせ(4月より気仙医師会長となりました。)

4月1日より気仙医師会の会長に就任しました。先代の武田健先生が大津波で逝去された後、大津定子先生が会長代行として頑張っておられました。「そのまま正式の会長職を」と皆で勧めましたが固辞されました。その後2月1日の臨時総会にて私、滝田の就任が決まったという経緯です。

私自身も被災者であり仮設で診療する現状なので、お断りしたかったのですが、事情は各先生も同じ厳しい状況です。

斯くなる上は、気仙のお医者さんや地域のために一肌脱ごうと決意した次第です。気

仙管内のみならず、岩手県医師会の理事も兼任しますので盛岡や東京での会議や行事出席が増えてくると思います。その結果、**急な休診が増えて皆さんにはご不自由、ご迷惑をおかけすることになると思います。**このような事情ですので何卒ご了承ください。従って定期受診の患者さんには予約を取ることをお勧めします。また風邪の患者さんは気仙管内に夜まで診療される立派な先生も多くいらっしゃいます。当院休診の際はそちらの受診をお勧めします。

